

那須塩原市議会だより

# ぎかいのひととき

6月定例会議の内容をわかりやすくお伝えします。

2022.8.20 No.98

特集

NPO法人三区町地域資源・環境保全会

三区町環境保全隊

×

市議会

## MENU

- 特集……………P2
- 議会報告会を開催しました…P5
- こんなことを審査・調査しました…P7
- こんなことを聞きました……………P9
- Future……………P18

# 特集 NPO法人三区町地域資源・環境保全会 三区町環境保全隊

×  
市議会



## 人・農業・環境を一体に考えた 地域づくりを目指していきたい

## 議員はもっと市を盛り上げて、 引っ張ってほしい



### NPO 法人三区町地域資源・環境 保全会、三区町環境保全隊とは

地域住民と共に、農地・農業用水などの資源や環境保全、地域福祉に関する活動を行っている。活動を通して豊かで明るい地域づくりや、子どもたちの環境教育の充実を図り、食料生産の場を確保できる基盤の確立も目指している。

**<活動の一つに子どもたちへの出前授業や野外授業があるがその内容は？>**

◆主に小学校1年生と3年生を対象に学校で行う出前授業と、3年生を対象とした野外授業の2つのコースがあります。  
◆出前授業では那須疏水と那須野が原開拓についてや、お米のできるまでなどをテーマに、野外授業は農業用水路と生き物についてや烏ヶ森神社の歴史についてなどをテーマに開催しています。

**<活動に参加した子どもたちの反応は？>**

◆生き物調査とサツマイモの収穫体験を開催した時は、特に親子に

喜んでもらえました。

◆NPOと子ども会育成会と連携して、「夏休み学習会&お楽しみ会」を開催した時は、文具を宝に見立てた宝探しや、大型絵本を使った読み聞かせ、かるた遊びなどの趣向を凝らし、『夏休みの楽しい思い出になった。』と好評を得ています。

**<活動を通して嬉しいことや、楽しいことは？>**

◆人と人の繋がりが実感できた事です。  
◆事業を通して地域外の人とも関わることができ、交流が図られた時です。

◆活動を通して地域内のまとまりを実感したことです。

**<活動を通じて感じる課題は？>**

◆地域内の農地や農業施設の草刈りと管理作業に負担を感じているので、負担軽減を図るように努めていきたいです。  
◆『地域の農業、農村を誰が担い、守っていくのか?』を考えた時、地域づくりのリーダーとなる人材不足と育成の難しさに強い不安を感じます。  
◆高齢化に伴って活動の参加が減少することが懸念され、今後の対策が課題だと思います。

**<今後の展望は？>**

◆三区町環境保全隊のスローガンである『好きです！那須疏水と緑豊かな郷・三区町』『守ります！那須の大地と清らかな疏水』と、保全会のスローガン『豊かな自然と共に笑顔で歩む一人一人が主役の明るい地域づくり』をベースにさらなる連携強化できるように努め、人・農業・環境を一体に考えた持続的に発展できる地域づくりを目指していきたいです。さらに、その時代に合った取り組みにもチャレンジできる組織体制も強化したいです。

**<市議会議員に持つ印象は？>**

◆自分が若い頃は、近寄り難いイメージでしたが、今では自分と世代の近い議員や、若い議員にも親近感を持っています。  
◆全議員はもちろん、若い世代は特に那須塩原市を盛り上げて引っ張ってほしいです。  
◆今は身近に議員さんたちを感じる事ができ、頑張る気持ちが行動に出てきていて、すごく嬉しく感じます。また、一生懸命に活動している事にスポットライトをあててくれて頑張ろうと励む思いを強くしました。

# 令和4年5月那須塩原市議会臨時会議が開催されました

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者の国民健康保険税、介護保険料の減免措置期間を1年延長するための条例の一部改正や、補正予算案などを審議するため、臨時会議を開催しました。

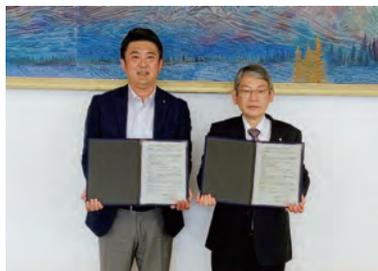
## 審議事項の一部を紹介します。

- ◆ 古くなった校舎を安全のために改修します  
築後26年を経過した三島小学校管理教室棟校舎を健全な状態に保つために予防的な改修を行う契約を締結するもの。
- ◆ 議会で審議する計画をわかりやすくまとめました  
議会基本条例の一部改正として、市で策定する各種計画や協定の締結について、議決が必要なものを明確化する内容の改正を行うもの。

## 議案の審査結果

議案番号	件名	結果
議案第42号	令和4年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第43号	令和4年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第44号	那須塩原市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
議案第45号	那須塩原市介護保険条例の一部改正について	可決
議案第46号	契約の締結について	可決
発議第9号	那須塩原市議会基本条例の一部改正について	可決

## 宇都宮共和大学と 協定を締結しました



宇都宮共和大学須賀英之学長(右)と松田議長(左)



令和4年7月6日、那須塩原市議会と学術研究機関でもある宇都宮共和大学が、地方自治や地域社会の活性化と人材育成を目的に、協定を締結しました。今後は政策形成のための調査や教育研究活動などについてお互いに連携・協力していきます。

# なしおふれあいトーク(第18回議会報告会及び意見交換会)開催

今回の「なしおふれあいトーク」は、コロナ対策としてオンラインでも当日会場でもどちらでも参加できるハイブリッド方式を初めて導入して開催しました。

当日は県外の大学生がオンラインで参加してくれるなど、多くの意見を聴くことができました。皆さんからいただいた意見を参考にしながら、より開かれた議会になるよう今後もしっかり取り組んでいきます。

## 皆さんからの意見を一部抜粋して紹介します

### 5/21 ハロープラザ 分散型 社会について

- ・手続き以外にも、レンタサイクルや子どもの遊べる場所などがあるとよい
- ・子どもと高齢者の交流の場ができてほしい
- ・行政のオンラインによる分散
- ・若い人の力を使って地域を活性化させていくべき



### 5/14 黒磯公民館 新しい公民館の あり方について

- ・公民館でワーケーションやテレワークをする
- ・若い人が興味を持つ講座をやってほしい
- ・規制を少なくするため、公民館を民営化する
- ・サードプレイス、市民が集まれる場所とする
- ・公民館が市役所の機能の一部を果たす



### 5/21 ハロープラザ 廃校利用について

- ・宿泊施設、野菜加工所、アート製作所、カフェなど
- ・地域の方々が集まりやすいサロン
- ・地域雇用と交流の場として、ショッピングモール
- ・子どもの教育を兼ねた職業訓練体験の場
- ・企業やスーパーの誘致や、ネットで物件紹介をしてはどうか



### 5/29 大山公民館 子育て 環境について

- ・学童が足りていない
- ・障害者の子どもたちは、特にサポートが必要
- ・歩道がない道が多い
- ・障害児の医療費が高額。窓口無料にしてほしい
- ・新しい道路ができて周辺交通の安全確保が課題
- ・子育て関連の市の予算をもっと多くとってほしい
- ・子どもの居場所づくり、地域とのつながり



## 常任委員会による所管事務調査を実施しました



### 総務企画常任委員会

令和4年6月14日(火)、那須地区消防組合 西那須野消防署 塩原分署を訪問し、施設の現状や今後の課題等について説明を受けました。

また、同日、本庁舎 303 会議室にて NTT 職員を招き、ICTを活用した防災ソリューションについての調査を行いました。



塩原分署訪問時の様子



VR使用による災害体験の様子

### 福祉教育常任委員会

令和4年6月17日(金)、宿泊体験館メープル及びフリースクールアップルバウムを訪問し、それぞれの施設で行われている事業について担当者から説明を受けました。



施設訪問時の様子



施設訪問時の様子

### 建設経済常任委員会

令和4年6月15日(水)、那須塩原市観光局及び関谷地区下の堀水力発電所を訪問し、観光局が行っている取り組み及び、発電所の新設についてそれぞれの担当職員から説明を受けました。



観光局訪問時の様子



発電所の新設

## こんなことを審査・調査しました

※ ◎は委員長、○は副委員長

総務企画常任委員会及び福祉教育常任委員会は付託案件がありませんでした。

### 建設経済常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、水道など  
【委員】◎田村正宏 ○益子丈弘、堤正明、室井孝幸、齊藤誠之、平山武、松田寛人、眞壁俊郎

#### 自転車の安全な利用を推進します

自転車の損害賠償責任保険等への加入が義務化される栃木県の条例が今年7月1日に施行されることを踏まえ、本市の自転車の安全な利用の促進に関する条例も併せて改正するものです。

**問** 小学校、中学校など自転車通学をしている児童生徒が多いと思うが、個人加入ではなく、学校等で一括団体保険として安価に加入する考えはあるか。

**答** 現在のところは個別加入をお願いするというところで考えている。

#### 関谷塩原線が県道から市道へ変わります

今回市道認定する関谷塩原線は、令和4年3月に開通した一般国道400号下塩原バイパスの開通に伴い、栃木県から移管を受けるもので、旧道部3.4kmを市道路線に認定するものです。

**問** 県から道路の補修など一定の作業なども移管されると思うが、年間どのぐらいの維持費がかかるものなのか伺う。

**答** 今のところ、維持管理費用については、道路の路面の補修や簡易的な維持補修に関するものについては500万円程度、その他冬場の除雪に関する費用が約400万円と聞いている。



### 予算常任委員会

【委員】◎山形紀弘 ○森本彰伸 ○田村正宏、その他全議員

#### アルコール検知器を導入します

**問** アルコール検知器の導入経緯と算出根拠及び内容について伺う。

**答** 道路交通法施行規則の一部が改正され、10月1日から安全運転管理者に運転前後の酒気帯びの有無の確認が義務化されることから導入するもの。積算根拠は、1基当たり4,980円で予備を含め合計130基、712,000円である。検知器のマニュアルについては、職員に周知を行っている。

#### 母子手帳アプリを導入します

**問** 母子手帳アプリの使用料と内容について伺う。

**答** 子育て関連の情報を発信するアプリケーションである。保護者の記入作業軽減を図り、子どもの発育の情報や健康管理に役立つものである。また、受診や予防接種を忘れなくする効果も期待している。10月から運用を開始予定で、来年3月までの使用料を計上した。

#### 新型コロナウイルス感染症の関係で収入が減少した放課後児童クラブを支援します

**問** 放課後児童クラブ運営費の補助金、140万4,000円の積算根拠を伺う。

**答** 新型コロナウイルス感染症の関係で放課後児童クラブを欠席した児童に利用料を返還したことで、収入が減少した放課後児童クラブに対する補助であり、令和3年度の実績をもとに積算している。1か月あたりの欠席児童数を延900人と見込み、1日当たり520円を掛け、補助対象期間4月から6月の3か月間を計算している。



本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
同意第 3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
議案第 47号	令和4年度那須塩原市一般会計補正予算（第1号）	可決
議案第 48号	令和4年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第 49号	令和4年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第 50号	那須塩原市自転車の安全な利用の促進に関する条例の一部改正について	可決
議案第 51号	那須塩原市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	可決
議案第 52号	市道路線の認定について	可決
議案第 53号	令和4年度那須塩原市一般会計補正予算（第2号）	可決
議案第 54号	契約の締結について	可決
議案第 55号	契約の締結について	可決
発議第 10号	市長の専決処分事項の指定についての一部改正について	可決

## 請願・陳情の提出方法

- あて先(那須塩原市議会議長あて)、提出年月日、趣旨および理由などを簡潔に書いてください。
- 住所・氏名を記入し押印してください。
- 請願書を提出する場合は、紹介議員(那須塩原市議会議員)の記名および押印が必要です。

- 請願・陳情者が多数のときは代表者を決めてください。この場合、代表者以外は署名簿に住所・氏名を記載し提出してください。
- 必要により資料を添付してください。

- 郵送による提出の場合は議長預かりとなり、審査されませんのでご注意ください。\*
- 請願、陳情の提出は、原則議会事務局へご提出ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、受付方法は、事前に議会事務局へ連絡・ご相談ください。



山形 紀弘議員



### 那須塩原ブランドについて

問 事業開始からの検証や課題について伺う。

答 市長 平成22年度から認定を行っており、新規認定数も減少傾向で、本来の目的の達成には至っていない。

問 認定により事業者への効果はあったのか伺う。

答 市長 認定により商談を有利に進められた、商品の信頼性が向上したと声がある。また、リニューアルしたブランド冊子が想定以上に反響がある。

問 今後の普及や周知について伺う。

答 産業観光部長 10月のとちぎ国体は全国から多くの方々が来場する絶好の機会であり、普及啓発を図っていきたい。

問 実施要領が現状のニーズに合っていないので見直しが必要と感じるが、所感を伺う。

答 産業観光部長 既存の事業者に対してアンケートを行っている。その意見等を聞きながら見直しを図っていく。

### 本市の公共施設に係る土地借地について

問 本市の土地借地総金額を伺う。

答 総務部長 令和4年度借地料の総額は9,016万7,034円、当初予算の511億円に占める割合は0.18%である。

問 土地を購入したほうが財政負担の軽減等メリットに繋がると思うが、土地借地を購入するに当たっての考えと購入に基金が活用できないか伺う。

答 総務部長 将来的には購入も一つの選択肢であるが、土地購入は単年度に大きな負担となり、慎重な検討が必要である。現在は土地購入目的で設置している基金はない。



佐藤 一則議員



### 男女共同参画社会の実現について

問 直近の市職員の課長職以上の人数と男女比について伺う。

答 総務部長 令和4年度は、76人で、男性が90.8%。女性が9.2%である。

問 課長への昇進の方法は。また、課長職以上の男女比が9対1の現状をどう捉えているのか。

答 総務部長 所管事務に対する責任感、部下の能力を發揮させる育成力等、総合的に判断して決定している。市では、特定事業主行動計画を定めており、女性管理職の割合を30%にする目標がある。

問 達成のためにキャリア研修等も実施している。

問 直近の農業委員の数と男女比について伺う。

答 農業委員会事務局長 直近の令和2年7月から令和5年7月までの委員数は20人で、男性が90%、女性が10%となっている。

問 女性農業委員の数値目標について伺う。

答 農業委員会事務局長 定数の30%の6人としており、募集案内等で周知し目標を達成したい。

問 直近の防災士の数と男女比について伺う。

答 総務部長 本市の防災士養成事業による資格取得者として、令和2年度は497人で、男性が84.5%、女性が15.5%。昨年と今年度は防災士養成事業をコロナ禍により実施していない。

問 今後の防災士養成事業について伺う。

答 総務部長 全ての自治会で自主防災組織が組織され、そこに防災士が入り共助体制が確立できることが理想と考え、今年度から事業を再開する。

問 男女共同参画社会形成について伺う。

答 市長 男女や世代間で理解が足りない部分があるので、社会情勢を緩和しなければと思う。





金子 哲也議員



花のポッポ通り整備について

**問** 大正から昭和43年まで西那須野から黒羽まで東野鉄道が通っていたが、廃線後は散策道として地域の歴史遺産となり、周囲もコケむしたり傷みも見られるようになった。今、この恵まれた環境にあるポッポ通りをバラや草花を主体とした花の通りによみがえらせて、3kmにわたっての西那須野地区の観光の拠点にしてはどうだろうか。近隣からも大勢の観光客が訪れることは間違いないと思われる。

**答** 市長 観光の目玉としての提案だが、地域の方々に親しまれる施設として引き続き適切な管理に努めていきたい。ガストロノミーウォーキングをやってみて観光地としての資源ポテンシャルを引き出せるかも知れない。これまであった田園空間、日本遺産も組み合わせることによって、新たな名所をつくっていききたい。

**答** 企画部長 市民が愛着を持つ取り組みとして、市民活動に精通している金子議員に力添えいただき、地域を動かし、まちづくりに協力願いたい。

**答** 産業観光部長 地域住民の方の盛り上がりと機運を高めていただき、そういう活動につなげていただけたら非常にありがたい。

**答** 建設部長 両脇にある緑地帯については、スペースがあれば草花を植えることは可能だと思う。

**問** ポッポ通りにバラを咲かせ日本一の散策道にするのではないかと。この財産に気付いて放っておくような市長ではないと信じている。

**答** 市長 今回勉強させて頂き、この地域の歴史は観光資源として素晴らしいものであると思う。



ポッポ通り（左）と、バラの散策道イメージ（右）



森本 彰伸議員



ウクライナへの支援について

**問** 受け入れた避難民への経済支援について伺う。  
**答** 企画部長 主な経済支援には、衣食住の確保が必要と考える。まずは住まいの提供を行い、その他については国、県と連携しながら必要な支援を行っていく。

**問** 市営住宅の活用について伺う。

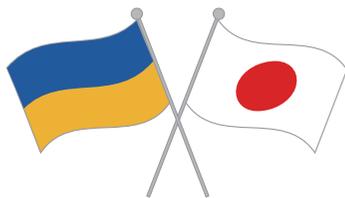
**答** 企画部長 避難民の方から入居希望があった場合には、通常の入居とは異なることから、市営住宅の目的外使用として対応する予定である。

**問** ウクライナ支援において、ダイバーシティを推進し、サステナブルな社会を目指す本市としての責任について考えを伺う。

**答** 市長 以前記者会見で、ウクライナの方々の支援はまだ始まったばかりで、短期的には鳥野目のオートキャンプ場を用意する余地があるということを行った。また、長引く場合は、市営住宅なども検討したいということは申し上げた。

市ではないが、うちの会社で就労しても良いと、ありがたい声はある。衣食住は支援できるし、就労も全くゼロではないと思っている。一方、長期化してくると、言葉の問題、文化の違い、避難民同士の方々の交流が問題になる。

就労も、当初は数か月ぐらいでも、長期的になる可能性もあり、私の記者会見の表明からかなり日数もたっている。国と県と連携もしていきたいなと思っている。また民間施設、近隣自治体にあるような大規模なテーマパークなども受け入れ表明などされているので、民間との連携もあり得ると思っている。そこについてはつぶさに状況を確認して進めていく。



鈴木 秀信議員



認知症施策と支え合う地域づくり推進について

**問** 認知症は社会的問題となっているが、支援体制の整備状況について伺う。

**答** 市長 地域包括支援センターにおける相談件数は、令和3年度は市内8カ所で1008件。認知症地域支援推進員は9名で、チームオレンジコーディネーターは1名である。地域住民助け合い事業に参加している自治会は117カ所となっている。地域支え合い推進員は15名で、地域課題の把握や解決のための支援に取り組んでいる。

**問** 地域での見守り活動は重要になっているか。

**答** 保健福祉部長 独居老人や高齢者世帯の認知症に関わる早期発見、早期支援については市だけでは対応しきれない実状があり、これから先、地域での支え合いが更に重要になってくる。

**問** 認知症地域支援推進員の最終整備目標とその根拠を伺う。

**答** 保健福祉部長 少しずつ増やし、15名としたい。できれば地域包括支援センターに各2名おければと考えている。

**問** 本市が考える「チームオレンジ」の狙いと具体的な構成メンバーについて伺う。

**答** 保健福祉部長 主な狙いは、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくり、認知症本人の社会参加の促進、これまで要請した認知症サポーターのさらなる活躍の場づくりである。構成メンバーとして、市が主催する認知症サポーター養成講座のステップアップ講座の受講者を中心に、地域包括支援センター、認知症カフェの関係者を考えている。共に支え合い助け合う仕組みづくりを進めていきたい。



山本 はるひ議員



タウンミーティングと市政懇談会について

**問** タウンミーティング「みちたろう TO わくわくトーク」の内容と市政懇談会の開催方法を伺う。

**答** 市長 わくわくトークは気軽に意見交換をして、市政を身近に感じていただきたいと開催している。地域ごと、児童生徒の皆さん、外国人の方、移住者限定など、まちづくり、コロナ対策など意見をいただき事業に反映させたものもある。市政懇談会は7月に自治会長やコミュニティ会長、市民の皆様に参加していただけるように周知している。今後も同様の方法で開催を考えている。

食材費高騰の中での学校給食について

**問** 学校給食にどのような影響が出ているか。

**答** 教育部長 市内産食材を国内産や外国産に切り替え、冷凍食品を活用している。牛肉から豚肉、鶏肉へ、デザートを減らすなど工夫している。

**問** 食材の購入先は。

**答** 教育部長 米飯、パン、牛乳は県学校給食会から、野菜は卸売市場と農協から、肉、味噌などは地元から購入している。外国産は14.8%、国内産85.2%で県内産49.1%、県外産18.2%、市内産は17.9%になっている。

**問** 米飯を増やせないか、主食の値段はどうか。

**答** 教育部長 今のまま継続したい。米飯は米飯加工賃を市から補助しているため90グラムで26.1円、コッパパン60グラムで52.52円になる。

**問** 給食費の値上げはないか。

**答** 教育部長 現時点で値上げは考えていない。

令和4年度学校給食費

	年 額	1 食	給食日数
小学校	49,750 円	250 円	199 日
中学校	57,710 円	290 円	199 日

保護者から預かった「学校給食費」は食材を購入する経費に充てられている。食材料費以外で給食の実施に必要な経費は市が負担している。



中里 康寛議員



**建設発生土の処理について**

**問** 残土処分の問題について、現在どのように進捗しているのか。

**答** 市長 栃木県大田原土木事務所が行っている建設発生土受入れ候補地の公募制度と同様の制度導入に向け大田原土木事務所と協議を進めている。また、那須塩原市建設業協会から残土処分候補地の情報提供があり、市発注建設工事の残土処分先としての指定に向け、協議を行っている。

**問** 残土処分候補地の容量について伺う。

**答** 総務部長 概ね8万5,000㎡の処分ができる。

**問** 受入れ開始はいつ頃を目指しているのか。

**答** 総務部長 現在、覚書について協議中であり、できれば今月末に締結させたい。また、受入れは今年の下半期、9月以降に開始していきたい。

**地域新電力事業について**

**問** 那須野ヶ原みらい電力株式会社は第三セクターということか。また、従業員は雇うのか。

**答** 気候変動対策局長 第三セクターである。従業員は当面雇わない。将来的には、電力小売を内製化し、地域貢献を創出できるよう検討していきたい。

**問** 収益を確保するためにどのような販売展開やマーケティング戦略を検討しているのか。

**答** 気候変動対策局長 市のクリーンセンターの電力を公共施設に売り、確実に利益を出すようにする。今後、相対契約による固定価格での電源調達を目指し支出を固定する。一方で我々の電力を賣ると環境価値もついてくるということをPRし地域の皆様に展開していきたい。



田村 正宏議員



**新型コロナウイルス感染症の長期化並びにウクライナ危機による物価高騰に対応した今後の生活者や事業者支援について**

**問** 市内の子ども食堂等に対する支援について伺う。

**答** 子ども未来部長 子ども食堂や地域での子育て支援活動を行っている団体に対し活動費の一部を助成し、地域社会全体で支え合いながら子どもを育てる活動の推進を図っている。具体的には、子ども食堂の新規開設に10万円、加えて運営1日当たりの支援として、今年度から2,500円増額して7,500円、さらに学習支援等を行う場合には年5万円を限度に助成している。また、継続性のある子育て支援活動に、今年度から年5万円増額して10万円を限度に助成している。

**問** 学校給食等の負担軽減について伺う。

**答** 教育部長 現在の物価高騰の中、市内産食材を国内産や外国産へ切り替えることや冷凍野菜の活用など、工夫をしながら対応している。さらなる物価高騰が続く場合を想定し、保護者へ負担がかからないよう、またこれまでどおり栄養バランスのよい魅力ある給食が提供できるよう、国の支援策の活用を視野に入れながら、適正な食材料費について精査してまいりたい。

**問** 孤独・孤立対策や困窮者支援に取り組むNPO等への支援や生活困窮者支援体制を構築するためのプラットフォーム整備について伺う。

**答** 市長 市として関係機関と連携強化を進めているところであり、プラットフォームの整備についても検討してまいりたい。



齊藤 誠之議員



**基金の在り方と有効活用について**

**問** 使用目的が定められる基金の設置は、財政面においてとても重要で有効なものであるが、これまでも提案されているスポーツ振興基金の設置について伺う。

**答** 教育部長 スポーツ振興基金は、今年度改訂に取り組んでいるスポーツ推進基本計画及びスポーツ施設整備計画の中で、市民スポーツの推進などのソフト面と、施設整備や修繕などのハード面での活用を想定して前向きに検討していく。また、基金の財源については、ふるさと納税の活用や大規模スポーツイベント誘致と連携したスポーツツーリズムの収益の充当、スポーツ施設への広告設置なども含めて検討していきたいと考える。

**民生委員児童委員のなり手支援について**

**問** 年間を通してICTを活用した研修等を導入していくことは考えられないか、また民生委員・児童委員や主任児童委員の活動にICT化を進める考えがあるのか伺う。

**答** 保健福祉部長 研修、会議等に委員が参加しやすい環境を考える上で、ICTの活用は検討すべき手法と考えており、昨年度は会場での直接受講のほか、YouTubeの限定配信、DVDや音声CDを用いてのハイブリッド研修を行っており、今後の研修等にもICTを活用し、委員の皆様が参加しやすい方法を検討していく。また業務のICT化については、市からの報告や連絡、配布物のペーパーレス化、訪問時の説明資料の随時の提供などに役立つと思われる。全部という形は難しいが、その環境整備について進めていきたい。



益子 丈弘議員



**ONSEN・ガストロノミーウォーキングの展開について**

**問** 近隣市町との連携、展開は考えられないか伺う。

**答** 産業観光部長 近隣市町にも日本遺産に登録している文化財など魅力的な資源がある。それらを活用し周遊ルートなど中長期的に滞在が見込めるよう、今後連携に向け研究をすすめたい。

**問** 今年度開催予定の西那須野地区でのONSEN・ガストロノミーウォーキングの内容は。

**答** 産業観光部長 11月に予定しており、田園空間博物館や開拓にまつわる史跡、伝統文化や日本遺産の活用を含めたものを考えている。詳細は西那須野観光協会や地域の方々と今後検討したい。

**本市の持続可能な農業を目指すために**

**問** 本市農業の目指す姿を伺う。

**答** 市長 本市の農業の持つ潜在力を最大限に生かしたブランド力の向上のほか、担い手確保、魅力ある畜産のまちづくり等を推進していきたい。

**問** 農業者の収益の確保、増大へ向けた既成概念を破る取り組みが必要と考えるがいかがか。

**答** 産業観光部長 国、県が多収性品種、気候変動に対応した品種開発の研究を行っているため、情報共有し、共に研究していきたい。また過日、県に対し有機農業の推進の施策提案を行ったことは一歩踏み込んだ取り組みだと思う。

**問** 元気アップアグリプランの改訂を予定しているが、計画には生産現場の声も反映されるのか。

**答** 産業観光部長 改訂に向けアンケート調査を実施し、その結果を基に生産団体や農業士会などから意見を伺い策定をすすめたい。





林 美幸議員



市民サービス向上に向けた行政改革について

問 年間を通して窓口業務の混雑状況は時期や時間帯、手続の内容によって対応する窓口も異なることから、手続が煩雑になる状況であるが、オンライン申請（書かない窓口）の導入について伺う。

答 企画部長 オンライン窓口システムは秋頃導入予定で、タブレット窓口受付システム（マイナンバーカード、免許証をタブレット端末で読み取り申請書を作成）は今年度導入を考えている。

※オンライン窓口システム…行政手続きをオンラインで行えるほか、来庁が必要な手続きにおいても、同システム上で事前に申請書の入力を行うことで、書類の記載をせず手続きを行うことができるサービス。

ごみの減量と地球環境の保全について

問 ごみの減量化・食品ロスをはじめとする発生抑制について伺う。

答 市長 一般廃棄物処理基本計画で、市民、事業者、行政の連絡、協働によるリデュース、リユース、リサイクル、この3つのRを推進していく。ごみの減量には意識、減量意識の啓発が必要と考える。食品ロス削減のために、リメイクレシピの紹介や、食品の有効利用を目的としたもったいないボックスを市と社会福祉協議会が連携して市内の各公民館に設置している。

問 公民館で設置されているもったいないボックスには、どのようなものを入れてよいのか。また、入れたものはどこに活用されるのかを伺う。

答 市民生活部長 常温保存の食品で1か月程度の賞味期限があるものを受け入れている。回収した食品は、食材を必要としている困窮世帯、子育て世帯、子ども食堂、県北フードバンクなどに提供している。



星 宏子議員



女性デジタル人材育成について

問 本年4月、内閣府男女共同参画会議において、女性デジタル人材育成プランが策定された。女性が育児・介護等でフルタイムの就労ができなくても、IT技術を習得することにより、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方ができる時給単価の高いデジタル分野への就労を支援するプランである。地域女性活躍推進交付金を利用し、デジタル人材を育成する考えはあるか。

答 市長 地域女性活躍推進交付金は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた「新たな日常」に対応するため、女性活躍推進を目的として、デジタルを活用して仕事をする人材へとステップアップするための取り組みを地域経済団体やNPOなどの団体と連携して行うことを推奨している交付金である。このような事業は、連携先も含め、本市で事業化できるか研究していく。

問 資格取得の補助について伺う。

答 市長 資格取得についての講座は数多くあり、内容もさまざまである。資格取得の補助は、ハローワークで行っている教育訓練給付制度がありその活用を進めているため、現時点では新たな補助については考えていない。

がん患者への医療用補装具の助成について

問 がん罹患患者へ医療用補装具の助成について。

答 保健福祉部長 医療用補装具は、がん患者の心理的不安の軽減や在宅医療生活の質の向上のためにも必要なものと考えている。昨年度、県が新たな補助制度を創設をしたので、それも活用しながら、引き続き実施に向けた検討を進めていく。



小島 耕一議員



食料の安全保障を見据えた地産地消や飼料の地域内自給の推進について

問 学校給食の市産割合を25%に上げるためにどのように取り組むのか。

答 教育部長 JAや地元直売所から協力を得ており、今年度はアグリパル塩原からニンジン、大根、ネギ、カブの提供を受けるとともに、那須塩原市産の小麦「ゆめかおり」のコッパンの提供を予定している。

問 ごはんの提供回数を週4回にしては。

答 教育部長 パン給食も必要と考えており、ごはんとパンとの割合は今後研究していく。

問 米粉パンを普及推進する考えはあるか伺う。

答 産業観光部長 米の消費拡大の中で、米粉パンも含めた普及啓発を考えていきたい。

那須塩原駅周辺まちづくりの今後の推進について

問 委託結果の市民への周知はどのようにするのか。

答 市長 このイメージを実現するためには、市民、関係機関・団体の理解や協力が必要ことから丁寧な周知、意見聴取を実施したい。

問 サウンディング調査はどのように行うのか。

答 企画部長 駅周辺の土地利用について民間事業者の考え方を聞いていくということで、参入できる条件等を聞いていきたい。

問 調査の委託先について伺う。

答 企画部長 昨年度イメージを委託した業者に継続して委託を予定している。

問 サウンディング調査のターゲットを伺う。

答 企画部長 ハード面では不動産、商業関係者を考えている。



星野 健二議員



子ども医療費助成に係る現物給付の拡充について  
問 本市が16歳～18歳まで、一部負担2,000円と決めた根拠は。

答 子ども未来部長 高校生の医療費助成を始めた平成25年当時、設計に当たり算出したところ高校生が1回当たり病院に通うと4,000円ぐらいになると試算し、その試算に基づいて、半分は行政、半分は親からということで2,000円になった。

問 本市の自己負担2,000円に関して、所感を伺う。

答 子ども未来部長 確かに2,000円の自己負担は少し突出していると考えている。

問 18歳までの子ども医療費の現物給付の拡充について、本市の考えは。

答 子ども未来部長 現時点では財政負担が大きくなることから難しいと考える。しかし、県が子ども医療費に関する市町への助成の拡充を今後検討する見込みであるため、動向を注視していきたい。

小学校教科担任制について

問 教科担任制のメリットについて伺う。

答 教育長 専門性を生かした教科指導を行うことにより、児童の学習意欲の向上につながる。さらに、複数の目で児童の様子を捉えるため、きめ細かな支援が可能になる。

問 教科担任制の導入について、本市の所見を伺う。

答 教育長 複数の教員による児童の多面的理解が進むことで、中学校への円滑な接続が図られることなど、個に応じた指導の充実にも効果があると捉えている。今後も、全教職員の協働によって教科担任制を積極的に進めていきたい。





三本木 直人議員



みどりの食料システム戦略について

問 国は、令和3年5月に食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を技術革新で実現する「みどりの食料システム戦略」を策定した。将来につながる那須塩原市の持続可能な農業を実現するために、その姿や在り方をどのようにデザインするかは重要であると考えことから、この戦略に対する市の所感を伺う。

答 市長 この戦略は、日本の農業をどうするかについて2050年までを見据えた長期的なビジョンである。この中には、CO<sub>2</sub>ゼロミッション化の実現、化学農薬の使用量を減らした低リスク農業への転換、化学肥料の使用量の低減、有機農業の取り組み拡大の4つの大きな目標があり、これらは本市が目指す取り組みと共通することから、今後の農業を取り巻く課題等を見据えた上で、農業の生産力、持続可能性を高めていくには重要な戦略であると認識している。

問 市での具体的な取り組みについて伺う。

答 産業観光部長 本市は、気候変動対策計画を策定しており、その中で、脱炭素社会実現を目指す緩和策として、畜産系や木質系などのバイオマス資源の有効利用の促進、家畜ふん尿など畜産系廃棄物の循環利用促進、農業におけるメタン、一酸化二窒素の排出削減の取り組みの促進、生産性向上等の効果の普及啓発などに取り組むこととしている。また、気候変動に対応した品種等の普及促進、畜舎内の暑熱対策や適切な飼養管理の促進、病害虫や雑草の効果的な防除対策の推進などに取り組むこととしている。その他の問題についても具体的に積極的に取り組んでいく。



鈴木 伸彦議員



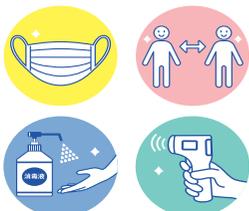
新型コロナウイルス感染症の本市への影響と今後の対応について

問 高齢者のフレイル、福祉健康について伺う。

答 市長 高齢者の方々については、3密回避で本来在宅で受けられる訪問型サービスや通所型サービスなどが利用しづらい状況であった。生きがいサロン、住民主体の通いの場の開催というのまかなり激減してしまったのでフレイルが今後増えていくのではないかと非常に心配している。一人一人がフレイル予防に取り組むことが重要であると思う。何事においても人と人との触れ合いというのは非常に重要であるが、できない場合にデジタルで補完できないかということで、東京電力パワーグリッドと協定を結び、独り暮らしをしている高齢者のご自宅にセンサーをつけて家庭の電力を解析し、フレイルの予防周知に取り組んでいる。

問 子どもの心の問題、子育ての家庭環境や貧困、教育について伺う。

答 教育長 感染不安や外出自粛が続く中で、家庭環境の変化によるストレスなど、精神、身体、行動などさまざまな面で不調を訴える子どもたちが増えていると報告を受けている。学級担任や養護教諭を中心にきめ細かな健康観察等により子どもたちの様子を的確に把握し、健康相談や教育相談を実施してきている。状況に応じて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどによる支援や、行政、福祉などの関係機関との連携を図るなど、今後も一人一人に寄り添いながら、児童生徒や家庭が抱える悩みや問題の早期解決に向けて適切に対応できるよう取り組んでいく。



室井 孝幸議員



所有者不明土地について

問 所有者不明土地についての、本市の考え方、今後の取り組みについて伺う。

答 市長 私が市長になる前職時代から携っていた政策の一つだが、当時はまだ所有者不明という概念がほとんどなく、2017年当時、九州程度の面積の所有者不明土地が、何もしないと2040年には北海道の面積ぐらいになってしまう、と懸念され始めた。当時も農地の2割が所有者不明との話もあったが、所有者不明とはいえ所有権を耕作者に移転することは財産権に抵触する可能性があり、今すぐに取得が容易にできるわけではない。国でも相続登記の申請義務化が令和6年4月に施行見込みであるので、今後も動向を注視したい。

補助便座について

問 公共施設における未就学児が使用できる補助便座の設置について伺う。

答 建設部長 都市公園は、補助便座が設置可能な多機能トイレはあるが、補助便座を設置しているトイレはない。今後、幼児の遊び場の利用状況などを見て、補助便座の設置を検討したい。

答 教育部長 文化会館、三島ホール、図書館、公民館で補助便座を設置しているのは厚崎公民館のみであり、図書館「みるる」には子ども用のトイレを設置している。

答 総務部長 本庁舎、西那須野庁舎及び塩原庁舎の多機能トイレは、保護者が小さな子どもに付き添って補助するために十分なスペースが確保されているため、現トイレに補助便座を設置する考えはない。



いきいきふれあいセンター敷地内多機能トイレ



堤 正明議員



安全安心のまちづくりについて

問 市民要望も多い生活道路、私道舗装の考えは。

答 建設部長 私道は、市の直接舗装化などの事業は行っていないが、私道補修要領に基づき認定を受けている路線は、舗装の穴埋めや砂利道の敷きならしなどの補修を行っている。「一般通行の用に供されている」「数件の住宅がある」「4m以上の幅員」などの要件に該当すれば、補修原材料費を100万円を限度に支援している。

問 他自治体では交付対象私道の条件を幅員2.7m以上の道路とし、補助基準工事費の2/3以内、上限額250万円としているがどうか。

答 建設部長 今後、他市町村の状況を見ながら必要な支援を検討していく。

自転車通行帯・遊歩道の設置について

問 車優先から人優先の道路利用について自転車通行帯の設置基準は。

答 建設部長 令和元年7月の道路構造令の改正により、自動車や自転車が多い道路において、安全かつ円滑な交通を確保するため、自転車通行を分離する必要がある場合、車道の左端寄りに1.5m以上の自転車通行帯を設けることとなっている。

問 旧国道400号関谷塩原線の活用について伺う。

答 建設部長 栃木県による道路修繕、落石防護柵等点等の整備完了後に移管を受ける予定で、利用方法は今後庁内で検討していく。

問 市民からの旧国道の利用要望について伺う。

答 塩原支所長 塩原温泉観光協会から、渓谷が美しい大正浪漫街道など、徒歩や自転車の散策を楽しめる観光地を目指す提案を受けている。



# Future

～わたしの夢～ No.20

大貫小学校 6年

## たなか なるな 田中 瑠菜さん

### 人を笑顔にできる看護師になりたい

**私**の将来の夢は、看護師です。私は、小さい時から体が弱く、入院を何回もしていました。その時看護師さんのことをよく見ていました。夜勤をしたりパソコンでメモをしたり忙しそうでしたが、患者さんのために食事を運んだり、話したりしている姿がとてもたのしくみえました。その姿に人として尊敬できたので、私のお世話をしてくれた看護師さんと「一緒に、看護師として働こう。」と約束もしました。私は患者さんの笑顔が見られる看護師として、病気やけがで苦しんでいる人々を助けてあげたいです。

今年、私が通う大貫小学校は閉校します。新しくできる籌根学園では、みんなで協力をして楽しく、仲良くしたいです。大貫小学校では、全校生で仲良く過ごすことができました。大貫小学校での経験を生かして夢に近づけるように頑張りたいです。



瑠菜さんは大変素直で、明るく活発に物事に取り組んでいます。困っている友達がいると優しく声をかけ、手伝う姿が見られます。また、苦手なことにも挑戦し、やり抜く努力家でもあります。夢の実現に向けて、目の前の目標に向かって頑張る瑠菜さんを推薦します。

(推薦者 加納 照久先生)

議 会 暦						
日	月	火	水	木	金	土
8/28	29	30	31	9/1	2 本会議再開	3
4	5 本会議 会派代表質問	6 本会議 一般質問	7 本会議 一般質問	8 本会議 一般質問	9 本会議 一般質問・議案質疑	10
11	12 常任委員会	13 常任委員会	14 常任委員会	15 常任委員会	16	17
18	19	20	21	22 常任委員会	23	24
25	26 本会議 散会	27	28	29	30	10/1

※上記の日程は予定です。今後変更になる場合があります。  
本会議、常任委員会は、午前10時開会予定です。  
※新型コロナウイルス感染症の感染状況次第では、傍聴を御遠慮いただく場合があります。

### 議会からのお知らせ

●令和4年度議会モニター募集中

那須塩原市議会では、市民の意見を広く聴取し、議会運営及び議会活動に反映させるため、議会モニター制度を導入しています。詳細な応募方法などは市議会ホームページをご覧ください。



議会モニター募集ページ

●議会を傍聴することができます

本会議は、当日議場に来て簡単な受付をするだけで傍聴することができます。ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください。  
議場に行けない場合には【那須塩原市議会中継】でインターネット検索すると中継が見られるページが見つかります。

### 編集後記

観測史上最速の梅雨明けを記録し、6月の後半から7月の半ばまで、極端な猛暑となりました。熱中症などで苦しまれた方も多く、心からお見舞い申し上げます。新型コロナウイルス感染症は、第6波が収まり始め、市民の経済活動も戻って来たと思うと、第7波と思われる感染拡大が始まり、まだまだ油断がならない状況であります。完全に収束しないコロナ禍ではありますが、いかに市民生活を確保していくかは議会、執行部そして全ての市民にとって大きな課題となっています。我々「ぎかいのひととき」を編集する委員も的確な議会の情報を提供することで、ウィズコロナの社会の中で貢献していけるよう努力して参ります。  
(森本彰伸)